たかさご新聞

新春のご挨拶

高砂大学校同窓会　会長　泉屋　和雄

新年のご挨拶を申し上げます。新しい年を迎えて会員の皆様にはすこやかにお過ごしの事と思います。

旧年中は会員の皆様の多大なご協力・ご支援のお陰で多くの事業を実施することが出来たことに感謝申し上げます。

今年も又、雪の舞う季節がやってまいりました。自然は何も変わることなく季節が移ろい四季が巡っています。雪景色の中に赤い椿が凛として可憐な姿を見るにつけ、こうした美しい自然に出会うとあらためて健康であることの有難さを、恙なく新しい年を迎えられたことに感謝するばかりです。

さて、あの1月の能登半島の大地震と豪雨災害以来、1年が経過しました。徐々に復興しているとはいえまだまだ道半ば、その爪痕は未だ変わらず大きな壁として立ちはだかっています。しかし、一方でこの災害に遭いながら必死に立ち上がろうとしている能登の人達に却って我々の方が勇気や元気をもらっているのが偽らない思いです。

高砂大学校同窓会として今年も引き続き活動の一環として「がんばろう！能登」を取り組みのモットーとして被災された方々に寄り添う活動を行っていきたいと思います。是非ご協力のほど宜しくお願い致します。

今年も会員の行事等への参加をより増やすため、その内容を充実してより学びを楽しめる機会を多くしていきたいと思います。

(1) 1月14日（火）には昨年能登半島地震の為、中止となりましたが恒例の「新春のつどい」の実施を企画しております。当日は「がんろう！能登」の一環となる「輪島朝市」を会場にて行うことになっています。

(2) 1月には「スマホ講座」第3弾を実施することになりました。

(3) 6月より「ランチタイム・オンステージ」と題して月に1～2回、彦三館一階ロビーでのグループの発表会を実施してきました。毎回60名前後の観客を迎え定着した活動を楽しんで頂いています。

昨年、秋のバス旅行は上杉謙信で知られる上越市を訪ねましたが、そのライバルがあの武田信玄でした。彼は戦国を代表する英雄たちが最も恐れた武将です。風林火山を旗印に掲げ、信頼で築き上げた強固な騎馬軍団を武器に無類の戦上手として名を轟かせました。

その武田信玄が「人は城、人は石垣、人は堀、・・・」などと残した言葉は多くありますが、その中に『一生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言い訳が出る』とあります。心して臨みたいと思うこの頃です。

今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いして、ご挨拶とさせて頂きます。

発　行
高砂大学校同窓会
会長　泉屋和雄
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL(076)261-8101
FAX(076)261-8149
(HP)http://www.takasagoob.net

赤い羽根共同募金活動と福祉バザーの益金寄付で感謝状受領

高砂ボランティア会　会長　106期2組　安田　誠治

高砂大学校同窓会及び高砂ボランティア会は、令和6年12月9日彦三館において、令和6年度赤い羽根共同募金活動に対する石川県共同募金会長感謝状を金沢市共同募金委員会國枝徳雄会長から伝達されました。この感謝状は、同窓会と高砂ボランティア会が協力して令和6年10月1日～7日の間、武蔵・香林坊及び文化ホール（生きがい演芸発表会場）で募金活動を展開し「216，689円」の募金が集まり、即日金沢市共同募金会に寄附したことに対するものです。

高砂ボランティア会は、12月9日彦三館にて、出展した3回にわたる福祉バザーの益金の一部6万円を金沢市社会福祉協議会へ寄付し、感謝状を受領しました。

同窓会会員の皆さんには、赤い羽根共同募金活動や福祉バザーなどにご協力いただきありがとうございました。

國枝会長とボランティア会副会長

國枝会長と同窓会会長

能登半島復興支援バスツアーのご案内

1月の能登半島地震及び9月の豪雨災害は大きな被害となりました。何よりも現場を見ること、そしてその時の話を聞く事でその体験を実感し、今後の支援活動の一助にできたらと思い、「能登半島復興支援バスツアー」を実施します。

案内チラシを用意しています。不明点や詳細については同窓会窓口へお問合せ願います。

QR コードで
ホームページ

能登半島復興支援バスツアーの概要

日時:令和7年3月11日(火)午前7:30出発(17:45帰着)
研修コース:金沢駅団体バス乗降場⇒西山PA⇒道の駅輪島⇒輪島朝市通り⇒輪島ワイプラザ(朝市出張所)⇒門前総持寺⇒能登ワイン工場⇒高松PA⇒金沢駅
参加費:4,000円
申込方法:1／20(月)午前10時～2／21(金)同窓会窓口で受付

石川県ＨＰより
地震後の火災被害（輪島市

令和7年度会員証発行のご案内

令和7年度の高砂同窓会会員証ができました。各期・組のクラス会長から配布されます。刷り色がオレンジ色になっています。裏面にクラスや氏名の記入欄が有りますので、必ず記入をお願いします。

サークル活動に入会する時には、高砂同窓会加入が必須条件となっています。未加入であれば、ご自分のクラス会長に申し出て、同窓会入会手続きをお願いします。不明点があれば同窓会窓口にご相談ください。

クラス会会長は、第3回クラス会長会議で配布した「令和6年度クラス会名簿」に役員変更や住所変更等が有れば赤字で修正して、加入者分の会費（1人2，000円）と合せて、令和7年3月17日（月）までに同窓会事務局に提出して下さい。納入後に、クラス会長から会員証が配布されます。

同窓会主催行事に参加するとポイントがもらえます。4ポイント以上になるとクオカード（500円）1枚を贈呈しています。対象事業は、7行事で令和7年3月24日（月）が交換期限です。①体育まつり、②作品発表会、③演芸発表会、④赤い羽根共同募金、⑤金沢マラソン応援、⑥日帰り研修旅行、⑦新春のつどい。

なお、金沢マラソン応援等に参加したが、会員証ウラ面に捺印されていない場合には、同窓会窓口に申し出てください。

第1弾・第2弾のスマホ講座が終了し、大好評により第3弾を開催

スマホ講座第1弾を9月30日（月）～12月20日（金）の期間に14回開催し、スマホ講座第2弾を11月15日（金）～12月11日（水）の期間に10回開催しました。毎回満席となり、大好評のうちに終了しました。

マイナンバーカードの活用や行政手続のオンライン化等により社会全体のデジタル化が進行中です。効率的で便利な生活環境を実現するために、総務省の旗振りで第1弾と第2弾のスマホ講座を開催しました。

受講者からのアンケート結果は次の内容です。個別に課題を持って受講したが、マンツーマンで対応して頂き、たいへん良かった。学ぶことが多く、さらに便利な機能をいろいろ学びたい。自分自身も含めて、家族や回りの人の利益につながります。ラインで孫と話せるようになり嬉しくなった。

デジタル化推進のバスに乗り遅れないように第3弾のスマホ講座を開催します。開催日程は上表の通りです。

第3段スマホ講座開催日程

回	日程	講座内容
第1回	1／10(金)	①初級講座
第2回	1／17(金)	②中級講座
第3回	1／20(月)	③上級講座
第4回	1／21(火)	①初級講座
第5回	1／22(水)	②中級講座
第6回	1／24(金)	③上級講座
第7回	1／27(月)	①初級講座
第8回	1／28(火)	②中級講座
第9回	1／29(水)	③上級講座
第10回	1／30(木)	①　初級講座

受講対象者は今まで1度も受講されていない会員です。ひとり3回まで受講可能です。

開催時間[13:30～15:30]、定員[12名]
会場[第2会議室(但し第1回は第3研修室)]
講座内容[①初級講座(基本操作、電話など)
②中級講座(インターネット、地図、その他)
③上級講座(LINE、その他)]
※不明点は、同窓会窓口にご相談ください。

受講後に講師と集合写真

第3回クラス会長会議を開催

第3回クラス会長会議が12月5日（木）13時半より彦三館大研修室で開催され、全73クラス中64クラスのクラス会長（代理出席を含む）が出席しました。

同窓会は、クラス会経由で会費を徴収し、同窓会主催の行事を運営しています。演芸発表会や秋の日帰りバス研修旅行等の実施報告が行われ、審議事項として、令和7年度の事業計画を説明しました。その後に熱心な質疑応答が行われました。

第３回クラス会長会議の様子

第2回グループ代表者懇談会を開催

第2回グループ代表者懇談会を12月10日（火）13時半より彦三館大研修室で開催し、全57グループ中49グループの代表者（代理出席を含む）が出席しました。

同窓会の活動報告とアンケート結果の報告を行いました。グループ活動の取り組み等について熱心な意見交換が行われました。

第２回グループ代表者懇談会の様子

同窓会会員のみなさまへ　新年のご挨拶

同窓会事務局長
111期1組　高澤忠雄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新春をお迎えになられましたことを心よりお慶び申し上げます。

私達同窓会スタッフは、泉屋会長のもと総勢20名でスタートしました。前年度から新しい組織作りの準備を進めて参りました。ところが年明けの一月元旦に発生した能登半島地震。その衝撃と驚き、そして徐々に明らかになってくる被害の甚大さにただただ言葉を失うばかりでした。その時から私達は「がんばろう！能登」を合い言葉に復興支援に取り組んでまいりました。

前年度からの継続経験者は5名。その他は未経験者です。行事やイベント、その他の活動を進める時は、ほとんどが手探りの状態からのスタートでした。時には喧々ガクガクと意見を闘わせながらもお互い協力し合い行事等を成功させて来ました。特に「生きがい演芸発表会」等の3大行事は総力を結集したものでした。このことはまことに皆さんの努力の賜だと事務局長として頭が下がる思いです。会員の皆様、特にクラス会長、グループ代表、運営委員の皆様のご支援とご協力があってのことだと感謝申し上げます。

私達スタッフ一同はひとまわり大きくなって来年度に邁進します。どうか会員の皆様には変わらぬご支援ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

巳年（令和７年）に意気込むスタッフ

高砂寿雪書道会の活動紹介

高砂寿雪書道会　顧問
98期1組　後藤　博

高砂寿雪書道会の活動について近況を交えてご紹介致します。

本会講師はお母さまの阿部寿雪先生とご子息の阿部豊寿先生の2名で、毎月第2と第3木曜日と土曜日の午前と午後に開講しています。豊寿先生はお寺や神社に揮毫されたり、書道を通じ能登地震復興に向け現地の方を激励されるなど精力的に活動されています。

我々会員も通常のご指導の受講に加え、様々な催しに参加することで書道の持つ芸術の枠を超えた大きな力に感銘を受けています。

今春には、バスツアーを兼ね富山県内の国宝の寺院で開催された先生の揮毫の会に参加したり、能登地震によりお休み中の会員に皆で寄せ書きを書いて励ますなど皆和気あいあい楽しく過ごしています。

会員の書道の腕前は年々向上して、今年度の石川県現代美術展には本会から10名近くが入選しました。目下の所は、年明けに東京都美術館にて開催される謙慎書道会展への出品を目指して、大きな掛け軸用の作品作成に勤しんでいます。

一つの作品が仕上がる迄に4時間近くかかり大変な集中力を要しますが、出来上がった時の達成感は格別です。我々の悩みは楽しく活動を続ける一方で会員の高齢化に伴い年々会員数が減少していることです。書道に興味をお持ちの方は、ぜひ本会にご参加下さいますようご案内致します。

高砂寿雪書道会のみなさん

丸岡城・永平寺・平泉寺訪問旅行記

OB歴史会　副会長
109期2組　藤島　寛仁

11月15日（木）朝に金沢駅を出発し、最初に現存十二天守の一つである「丸岡城」を訪ねた。丸岡城は、柴田勝豊が築いたものであるが、福井大地震で倒壊するなどの幾たびかの災難に見舞われながら現在に至る。

次に、鎌倉時代初期の禅僧である道元（宗門では高祖承陽大師と呼ばれている）が開山した「大本山永平寺」を訪ねる。境内の落葉樹は紅葉が進んでおり、目をなごませた。

午後は、「平泉寺白山神社」を訪れた。平泉寺境内には、名前の由来ともなった御手洗池では澄み切った水が滔々と湧き出ており、白水の女神が出て来そうな気持ちにさせられた。常緑樹の杉の深緑と苔の淡い緑のコントラストが素晴らしかった。

永平寺の唐門（勅使門）前で撮影

高砂らくらくピアノクラブの活動

高砂らくらくピアノクラブ会長
114期2組　高寺　恒雄

高砂らくらくピアノクラブは現在、第1教室と第2教室に分かれて火曜日の午前と午後に活動しています。講師は、全日本らくらくピアノ協会認定の笠間祐子先生です。初心者や楽譜に自信がない方でも、楽しく演奏を始められるように書かれた「らくらくピアノ教本」を使用しています。このクラブでは、一人ひとりが自分のペースで、自分の好きな曲を楽しみながら演奏できるようになることを目指しています。

このクラブに入ろうと思ったきっかけは、彦三公民館でピアノ初心者向けの会員募集のポスターを見たことでした。このクラブなら全くの初心者でもピアノを触って弾いてみるきっかけになるのでは思ったのでした。キーボードを購入して、まずは教本に付属しているドレミのシールを鍵盤に貼り、C・F・Gなどの基本的な和音を覚えることから始めました。簡単な曲であっても、左手で和音を正確に弾きながら、右手でメロディーを奏でることに苦労しています。脳と両手の連携はなかなか難しいです。

らくらくピアノクラブでは、一人ひとりの練習に加えて、毎回全員での合奏も楽しんでいます。全員が弾ける曲を中心に合奏します。高砂演芸発表会にも毎回出演しています。

子供の頃にピアノを習っていた方、家に眠っているピアノを活用したい方、歌が好きな方など、入会のきっかけはさまざまです。入会後はそれぞれのペースでキーボード（または自宅のピアノ）を楽しんでいます。私も、自分の好きな曲をレベルに合った楽譜で弾けるようになり、ピアノをもっと楽しめるようになりたいと願っています。

演芸発表会に出演中のみなさん

ランチタイム・オンステージに出演し手拍子で大盛り上がり

高砂オカリナクラブ　会長
102期3組　木下　幸子

令和6年11月26日（火）、「ランチタイム・オンステージ」の機会を頂き、玄関ロビーで「オカリナ癒しのホットタイム」を開催しました。これまで全員揃って演奏していましたが、小グループに分かれて演奏しました。

1グループは「キラキラ星・紅葉・エーデルワイス」、2グループは「瀬戸の花嫁・旅愁・故郷」、3グループは「里の秋・見上げてごらん夜の星を・花は咲く」の曲目です。

日本の抒情歌は色彩が豊かで情景が目の前に広がるような曲が多く、「里の秋」は囲炉裏で母親と栗の実を煮ながら、外地へ戦争に行っている父親を偲ぶ歌に、昔を思い出し泪ぐむ方も見えました。「故郷」は演奏に合わせて会場の皆さんに歌って頂きました。

また、２０１１年の東日本大地震の応援ソング「花は咲く」は、頭を揺すって共に饗宴する姿も見受けられ、能登地方への応援歌となったと思います。

指導講師の有松理恵先生は、終戦後に大きな力をもたらしたと言われる「東京ブギウギ」を演奏して下さいました。作詞は有名な鈴木大拙の養子という紹介に驚いた方もいて、手を叩き会場は盛り上がります。

もう1曲は「オーシャンゼリーゼ」で「その人が自分にとって唯の他人でなく、特別な存在となること」を意味し、日本流にいえば「極楽浄土」という意味になり、明るい音色で晩秋の癒しのひと時を持てたと思います。高砂同窓会の素晴らしい企画に感謝です。

出演後のオカリナクラブのみなさん

ＯＢ系４サークルによる入会説明会と勧誘合戦

大学院終了後も学びを継続するために、ＯＢ歴史会、ＯＢ生きがい会、ＯＢ花樹会、悠々健康クラブのＯＢ系４サークルが11月26日（火）より、活動内容をアピールするスピーチを大学院受講日に合わせて計４回行いました。

12月10日（火）より大学院最終受講日に合わせて計４回にわたり、会員数維持や拡大のために、毎年恒例の入会勧誘合戦が彦三館ロビーで繰り広げられました。サークル旗を前面に配置し、入会を勧める呼び込みの声が飛び交いました。熱心な勧誘に、入会する風景が見られました。

アピール中の悠々健康クラブ担当者

ＯＢ系４サークルによる勧誘合戦

生け花教室

俳句・短歌

さんご句会

道すがら鳶の笛きく初詣　八重子
凡凡と歩み来し道八十路の者　明子
風止り寿ぐ参道破魔矢かな　紀子
初弾の琴の音ひびく座敷かな　依子
寒雷や文庫本伏せ背伸びをし　紀代

石蕗句会

物価高冬枯れの如世相なる　義景
冬枯れや盛りを偲ぶ広野原　和子
復興をさらに足止め冬の雨　濤華
冬の雨ともとはなしがしたくなり　眞奈美
表札の無い家多し冬の雨　ミイ

雪椿句会

雪吊りの技にうつ鳥旅の人　高三
突風や銀杏落ち葉の吹き上がる　房義
サークルの手取川ウォーク冬ぬくし　順治
天穹へ投網打ちたや鰯雲　悦子
バス待ちのベンチの二人日向ぼこ　陽子

ＯＢ短歌会

よしいくぞ明日が来るやら知らないが今日を生きるさこれでいいのだ　明美
水面には染井吉野の花筏熊谷桜はいま咲き誇る　重子
道の辺の芒の穂波招くよにゆれてこの道去年来た道　千佳子
ＪＡＺＺのビート、真夏日の汗、カキ氷の真っ赤を頂き　秋涼の街ゆく　美代子
君に逢ひ異空間に居るしみじみと去り難き想ひにひたりてをりぬ　信夫